

V 交流

(国内外とつながる交流・物流の拡大)

V-1 国内外とつながる観光の推進

V-1-① 観光の付加価値創出・向上

施策関係課 観光交流推進部観光政策課
誘客交流課
県土整備部道路課

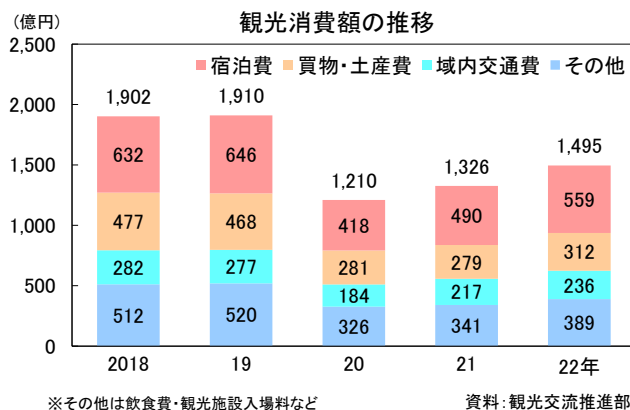
◎令和5年度の実施状況と成果

観光コンテンツの新規開発や既存コンテンツの磨き上げの過程で収益性の視点も含めた実証を行い、継続性の高いコンテンツづくりを進め、本県観光の魅力向上を推進してきた。観光コンテンツ先進事例を調査したほか、本県で実現性の高い観光コンテンツの開発に着手し、商品化した。

アートツーリズムによる更なる本県滞在を促進するため、暮らしぶりにまつわるアート体験と宿泊を組み合わせたプラン等を創出した。

青樫山バイパス完成後の通年規制のほか、奥入瀬における魅力や新しい交通システムを学んでもらうことを目的に、地元の小中学生を対象とした「未来の奥入瀬」体験ツアーを実施した。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--|---|--------|
| 滞在型観光コンテンツ創出推進事業 (観光交流推進部観光政策課) | 観光コンテンツ開発件数 15件 | 26,840 |
| 地域の力で磨く三八の新しい旅行スタイル構築事業 (観光交流推進部観光政策課【三八地域県民局】) | キャンプスタンプラリー参加者数 615人 YouTuberタイアップ動画合計再生回数 13万回 三八地域観光セミナーの開催 | 5,921 |

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--|--|-------|
| アウトドアの聖地「奥津軽」 構築事業 (観光交流推進部観光政策課 【西北地域県民局】) | 西北アウトドア勉強会参加者数 16人 アウトドアコンテンツの開発 上記コンテンツ検証のためのイベント参加者数 58人 冬キャンプ参加者数 21人 情報発信のためのPR動画の制作 管内アウトドア情報HPの制作 | 3,437 |
| 西北の鉄旅コンテンツ創出事業 (観光交流推進部誘客交流課 【西北地域県民局】) | 鉄道ファン向けモニタツアーの造成・実施本数 6本 鉄道Y o u T u b e r によるオンラインツアー動画の制作 五能線カード及びマップ作成部数 カード10種各1,000部、マップ3,000部 | 3,299 |
| 上北の強みを生かしたマイクロツーリズム推進事業 (観光交流推進部誘客交流課 【上北地域県民局】) | 観光コンテンツ開発件数 3件 開発した観光コンテンツの体験会開催回数 2回 HP・情報誌での情報発信回数 2回 受入体制づくりや意識醸成を図る勉強会開催回数 3回 | 2,953 |
| 下北のヒミツ深掘りコンテンツ開発事業 (観光交流推進部観光政策課 【下北地域県民局】) | コンテンツ制作会議開催回数 4回 観光コンテンツの開発 SNS、WEB及び雑誌による情報発信回数 8回 | 2,134 |
| 「未来の奥入瀬」体験ツアー推進事業 (県土整備部道路課) | 体験ツアー参加校数及び参加者数 2校、40人 | 9,644 |

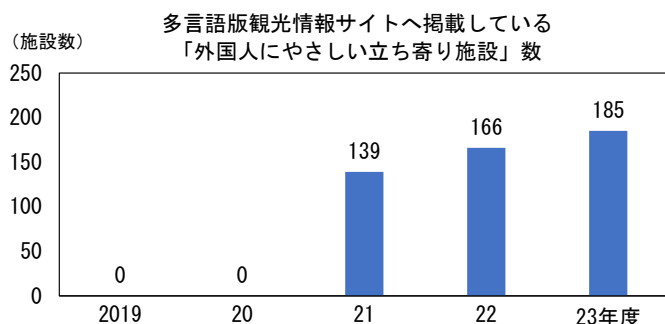
V-1-② 多様な来訪者が快適に滞在できる環境づくり

施策関係課 観光交流推進部誘客交流課

◎令和5年度の実施状況と成果

「外国人にやさしい立寄り施設」調査を行い、外国人旅行者の受入を希望する事業者や、受入環境整備状況を把握し、結果を多言語版観光情報サイトで公表した。

◎関連する指標の動向等



※2019年度、2020年度は調査を実施していない

資料：観光交流推進部

◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|------------------------------------|--|-------|
| インバウンド受入環境整備促進事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 受入環境向上セミナーの開催 外国人に優しい立寄り施設調査件数 1,516件 | 5,343 |

V-1-③ 観光DXの推進と持続可能な観光関連産業の確立

施策関係課 観光交流推進部観光政策課

◎令和5年度の実施状況と成果

本県への誘客を促進するための効果的な観光施策の立案に資することを目的とし、一般社団法人東北観光推進機構が保有するデータ集積基盤である「東北観光DMP」を活用し、国内外を対象として本県が実施する取組や事業の効果測定分析及び広域での観光客の動向分析を行った。

県内5DMOを対象に、東北観光DMPや各種調査データ等を活用した観光マーケティングデータ分析を行い、有効な観光戦略の策定、観光戦略に基づいた情報発信及びそれらの検証を支援した。

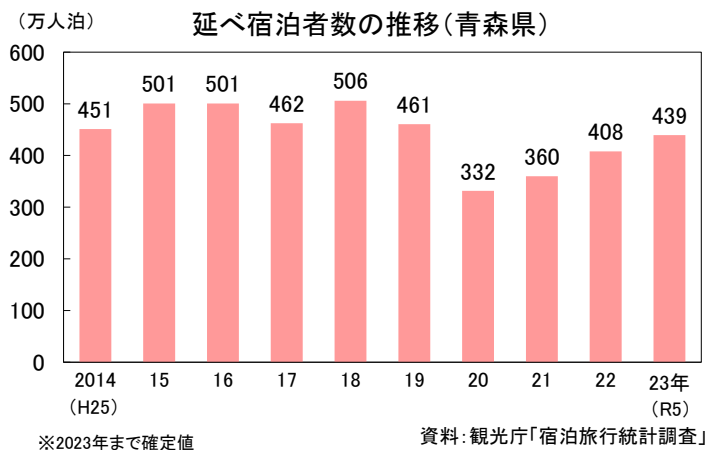
県内DMOを対象にマーケティング会議を実施し、各DMOで実施したデータ分析から検証までの流れやデジタルマーケティングに係るノウハウを共有し、全ての県内DMOが観光マーケティングデータ分析を自ら実施できるよう支援した。

観光地域づくりに取り組む人材を育成するため、県内DMO担当者のもとに国内の先進DMO等の代表級の方をメンターとして派遣し、事業の進め方及び事業内容に対する助言を行ったほか、オンラインフォローを行い、観光事業者や市町村等を対象に成果報告会を開催した。

観光客からのニーズが高まっているサステナブルへの理解を深めるため、十和田奥入瀬観光機構の管轄エリアをモデル地域とし、十和田市で現地とオンライン併催により観光事業者や市町村等を対象としたセミナーを開催したほか、サステナブル観光の専門家を招請し、県内事業者に対して助言を行った。

観光産業の労働力確保に向けた対策を検討するため、県内宿泊施設を対象に人材確保に関するアンケート調査を実施した。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--|---|--------|
| DMO観光デジタルマーケティング推進事業 (観光交流推進部観光政策課) | マーケティング分析件数 4件 県内DMOの観光戦略策定支援及び情報発信支援件数 4件 県内DMOマーケティング会議開催回数 4回 | 17,341 |
| 観光産業基盤強化事業 (観光交流推進部観光政策課) | 県内DMOマーケティング会議開催回数 4回 先進DMO等からのメンター派遣回数 延べ2回 オンラインフォロー回数 延べ3回 成果報告会の開催 サステナブルモデル地域設定及びセミナーの開催 サステナブル観光の専門家招請回数 2回 宿泊施設を対象とした人材確保に関する調査の実施 | 14,339 |

V-1-④ 青森ファンを増やす情報発信

施策関係課 観光交流推進部観光政策課

◎令和5年度の実施状況と成果

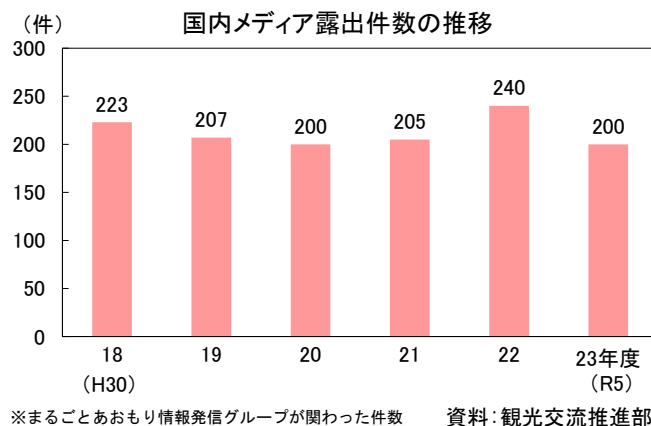
「青森型CRM(※)」及び「青森ファンクラブ」の構築・運用に向けた在り方(目指す姿)の検討のため、有識者ヒアリング及び先進事例調査を行い、在り方や戦略等を策定した。

「青森型CRM」及び「青森ファンクラブ」の推進体制の構築に向け、県内全DMO(5DMO)を招集し、意見交換会を開催し、取組について合意形成を行った。

マスメディア関係者及び著名人などインフルエンサーに対する情報提供活動を通じ、関係構築を図ったほか、各種マスメディアを通じた情報発信を行った。

※CRM: Customer Relationship Managementの略称で、顧客関係管理のことを指す。顧客情報や行動履歴、顧客との関係性を管理し、顧客との良好な関係を構築・継続すること。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--|--|--------|
| DXによる青森ファン関係強化推進事業 (観光交流推進部観光政策課) | 青森ファンプラットフォーム構築・運用戦略の策定 県内全DMOとの意見交換会開催回数 5回 | 9,254 |
| まるごとあおもりデジタルシフト展開事業 (観光交流推進部観光政策課) | 総インプレッション数(表示回数) 30,518,997回 総フォロワー数 約87,000人 | 13,449 |
| 東青観光プロモーション事業 (観光交流推進部観光政策課【東青地域県民局】) | SNSによる情報発信回数 174回 SNS投稿閲覧回数 688,477回 フォロワー数 17,822人 | 6,467 |
| 古津軽ブランド魅力向上事業 (観光交流推進部観光政策課【中南地域県民局】) | 検討会開催回数 7回 旅行商品造成件数 10件 古津軽ウィークの開催 旅行ガイド本「古津軽」の作成 | 7,709 |

V-1-⑤ 国内外からの誘客の強化

施策関係課 観光交流推進部観光政策課
誘客交流課
県産品販売・輸出促進課
県土整備部港湾空港課

◎令和5年度の実施状況と成果

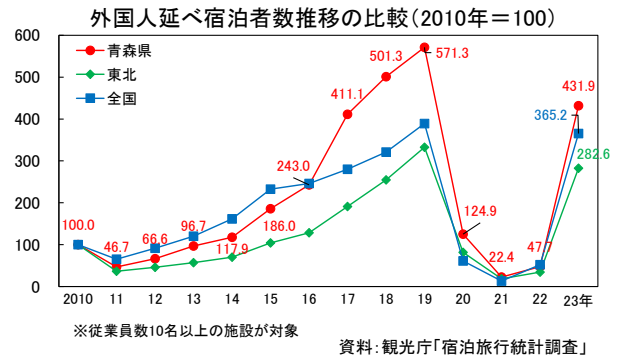
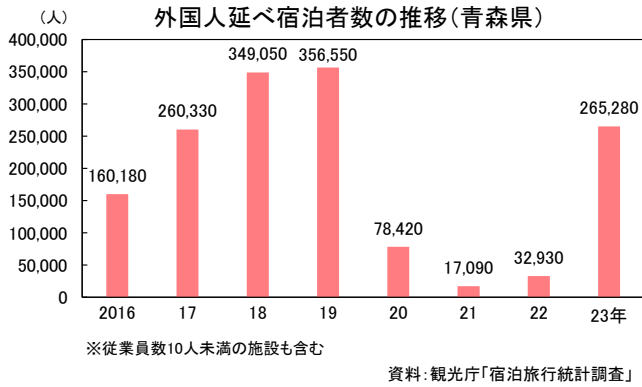
世界遺産や「アートと花」をテーマとしたプロモーションを行ったほか、「マイクロツーリズム」の推進に向け、近隣道県の居住者をターゲットに雑誌を活用した情報発信を行った。

主に企業の従業員をターゲットに、本県の観光PR及び県産品即売会を行う「青森フェア」を首都圏、中京圏、関西圏でそれぞれ実施した。

訪日外国人旅行者を本県に取り込むため、東アジアを中心に知事によるトップセールスや旅行博等でのプロモーションを行ってきた結果、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ外国人延べ宿泊者数は大幅に回復し、東北では宮城県、岩手県に次いで3位(全国31位)となった。

青森港へのクルーズ船の寄港数は、過去最多となる39回を記録したほか、八戸港にも初めて外国船が寄港した。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位:千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|---|--|--------|
| 世界遺産活用ツーリズム推進事業 (観光交流推進部観光政策課、誘客交流課) | 縄文利用バス助成申請件数 43件 白神山地プロモーション実施回数 2回 広告助成による旅行商品造成数 40商品 首都圏講座受講者数 26人 | 49,313 |
| アートと花の魅力活用誘客促進事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 首都圏イベントでのPR実施回数 2回 プロモーション用動画制作本数 2本 SNSでの情報発信回数 18回 | 10,364 |
| エリア別国内誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | セールスを実施した首都圏旅行会社数 延べ39社 セールスを実施した中京圏旅行会社数 延べ15社 セールスを実施した関西圏旅行会社数 延べ17社 セールスを実施した九州圏旅行会社数 延べ18社 | 20,533 |
| 青森型マイクロツーリズム推進事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 県内民放3局による観光情報発信回数 17回 岩手県・秋田県放送局での観光情報発信回数 4回 北海道・北東北情報誌での観光情報発信回数 3回 宿泊施設の魅力向上支援に係る訪問施設数 27施設 | 30,184 |
| 企業連携型青森ファン再拡大事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 県産品・観光フェア実施回数 5回 企業の研修担当者を招請した視察会の開催 県内関係者向けの受入環境整備研修会の開催 | 6,955 |
| 台湾誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 現地旅行会社招請回数 2回 メディア招請回数 1回 青森グローバルアンバサダー招請回数 1回 青森グローバルアンバサダー連携イベントの実施 SNSによる情報発信回数 155回 旅行博・現地イベント出展回数 3回 現地商談会参加回数 1回 | 32,636 |

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|---|--|--------|
| 中国誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 現地航空会社・旅行会社招請回数 2回 旅行博・現地イベント出展回数 4回 観光特設ページへのアクセス数 39,883,900回 SNSによる情報発信回数 232回 現地旅行会社招請回数 2回 現地旅行会社招請回数 2回 | 24,381 |
| 香港誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 現地イベント出展回数 1回 現地メディア招請回数 2回 現地旅行会社招請回数 1回 SNSによる情報発信回数 263回 | 9,755 |
| 欧米誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | メディア招請回数 3回 現地旅行会社招請回数 1回 三沢米軍基地関係者のファムツアー実施回数 2回 SNSによる情報発信回数 97回 | 6,925 |
| タイ誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 現地旅行会社・メディア招請回数 1回 旅行博出展回数 1回 SNSによる情報発信回数 38回 | 5,993 |
| 豪州誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 現地旅行会社招請回数 1回 旅行博出展回数 1回 商談会出展回数 2回 WEB広告及びSNS広告掲載回数 2回 SNSによる情報発信回数 50回 | 7,015 |
| 韓国誘客対策事業 (観光交流推進部誘客交流課、 県産品販売・輸出促進課) | 現地旅行会社等招請回数 3回 韓国メディアを活用した情報発信回数 7回 青森グローバルアンバサダー招請回数 2回 SNSによる情報発信回数 72回 商談会参加回数 2回 大規模見本市等出展回数 1回 | 30,667 |
| クルーズ船寄港拡大推進事業 (観光交流推進部誘客交流課) (県土整備部港湾空港課) | ポートセールスを実施した船社等数 延べ23社 在京ランドオペレーター招請社数 4社 | 10,880 |

V-2 輸出・海外ビジネスの拡大と物流の確保

V-2-① 海外ニーズを捉えた輸出戦略の展開

施策関係課 経済産業部産業イノベーション推進課
観光交流推進部県産品販売・輸出促進課
農林水産部りんご果樹課

◎令和5年度の実施状況と成果

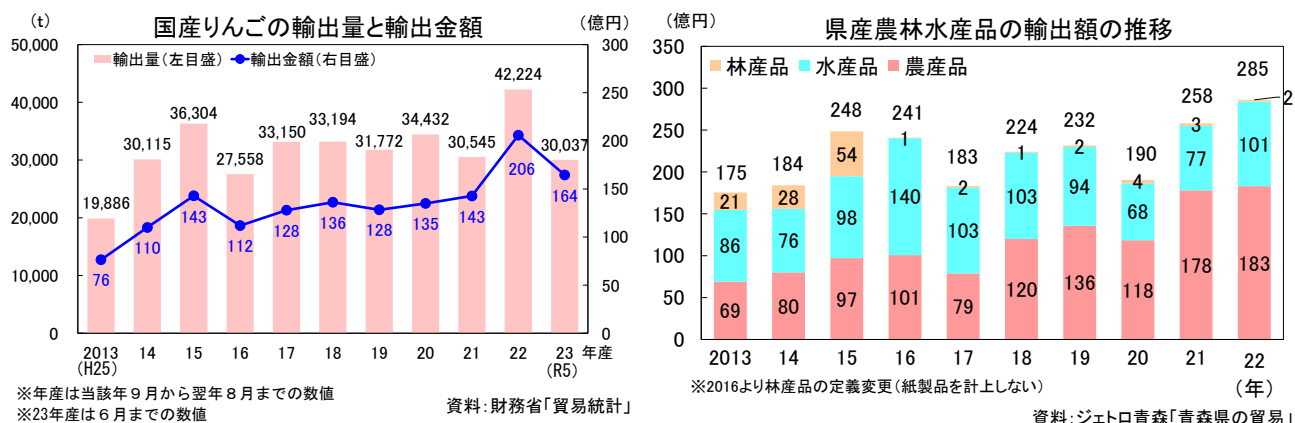
ライブコマースを活用した新たな販路開拓を支援したほか、県内企業と台湾企業のマッチング支援や認知度向上に向けたプロモーションに取り組んだ。

青森りんごの一層の輸出拡大に向けて、輸出序盤の関係団体と連携した台湾でのトップセールスや流通・販売事業者との意見交換、現地企業と連携した情報発信等を実施したほか、新たに輸出が可能となったインド（ムンバイ）の有望性調査を実施した。

工芸品について、フランス・パリで開催された世界最高峰のインテリア・デザイン見本市メゾン・エ・オブジェに県内事業者とともにブース出展し、EUをはじめとした世界各国のバイヤー等に本県の伝統工芸品をPRした。出展に当たっては、専門家を本県に招請して県内事業者を個別に訪問し、海外向け商品のブラッシュアップを図った。

台湾及びベトナムにおける高品質りんご提供のためのコールドチェーンや販売状況の調査、台湾の行政機関との意見交換を実施した。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|---|---|-------|
| あおもりPG台湾ビジネス挑戦事業 (経済産業部産業イノベーション推進課) | ライブコマースを活用したテストマーケティング参加企業数 6社 「あおもりPG」台湾商談件数 6件 | 7,564 |

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--|---|--------|
| 青森りんご海外プロモーション強化事業 (観光交流推進部県産品販売・輸出促進課) | 台湾における知事トップセールス実施回数 3回 台湾りんご輸入業者等との意見交換の開催 連携して情報発信した台湾現地企業数 2社 新規輸出国(インド)有望性調査の実施 | 13,883 |
| 青森工芸品海外販路拡大推進事業 (観光交流推進部県産品販売・輸出促進課) | 国際見本市への出展 | 9,912 |
| ウィズコロナ対応型輸出入りんご供給体制強化事業 (農林水産部りんご果樹課) | 台湾行政機関との意見交換会開催回数 2回 輸送環境等追跡調査回数 2回 | 4,109 |

V-2-② グローバルな経済連携の強化

施策関係課 経済産業部産業イノベーション推進課
観光交流推進部県産品販売・輸出促進課

◎令和5年度の実施状況と成果

海外販路開拓・拡大を目指す県内企業を支援するため、「青森県輸出・海外ビジネス戦略」に基づき、台湾、香港等に拠点やネットワークを有する事業者を通じたビジネスマッチングを実施した。

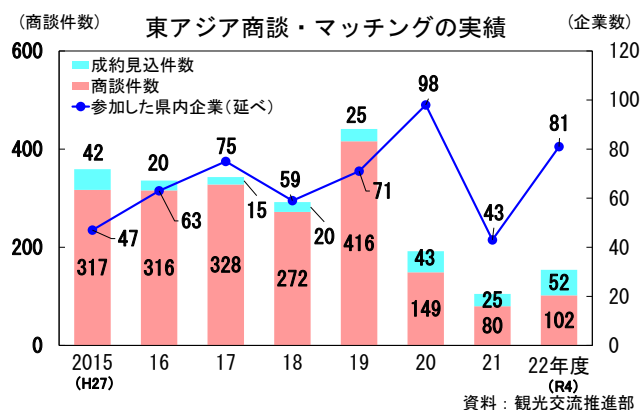
台湾及び香港について、知事トップセールスや現地レストラン等でのフェア、東南アジアの小売店や飲食店を活用したフェア等を実施するとともに、海外のバイヤーを本県に招請し、商談会や企業訪問等を行った。

台湾とのビジネス交流を促進するため、アルコール飲料の新商品開発をテーマに、台湾の素材や先行事例を紹介するセミナー及びフォーラムを開催し、県内事業者が参加したほか、令和4年度に実施した大学生を対象としたビジネスプランコンテストの最優秀作品を商品化し、テスト販売を実施した。これらの取組により、台湾産果実等を活用したアルコール飲料等の商品開発に至った。

台湾企業の県内企業に対する投資・業務提携等意向調査を実施し、投資・業務提携の促進に向けた情報収集を行った。

東南アジアについて、現地のパートナーと連携し、タイの小売店や飲食店を活用したフェアを実施するとともに、シンガポール及びベトナムでは、県産品の販路開拓・拡大に向けた調査等を実施した。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--|---|--------|
| 青台連携新産業創出事業 (経済産業部産業イノベーション推進課) | 台湾の強みを活用したビジネス創出セミナー開催回数及び参加企業数 3回、25社 ビジネスプランコンテスト商品化数 3点 台湾産果実等を活用したアルコール飲料等試作件数 5件 | 11,743 |
| 香港との絆づくり・交流深化事業 (観光交流推進部県産品販売・輸出促進課) | 展示会への出展 アート・工芸品関係者招請回数 2回 香港飲食店における工芸品とのコラボフェアの開催 | 14,511 |
| あおもりビジネス海外展開推進事業 (観光交流推進部県産品販売・輸出促進課) | ビジネスプラン作成企業数 2社 台湾現地商談会参加企業数 3社 | 3,914 |
| 香港輸出拡大ネクストステージ展開事業 (観光交流推進部県産品販売・輸出促進課) | 食品ビジネス通年マッチング企業数 11社 招請商談会参加企業数 5社 | 38,826 |
| 台湾食品ビジネス輸出拡大支援事業 (観光交流推進部県産品販売・輸出促進課) | 食品ビジネス通年マッチング企業数 17社 招請商談会参加企業数 13社 | 13,400 |
| パートナー連携輸出拡大取組強化事業 (観光交流推進部県産品販売・輸出促進課) | 青森県フェア開催回数 5回 試飲会・テスト販売実施回数 2回 輸送の実証及びテストマーケティング実施回数 2回 | 18,646 |

V-2-③ 産業と暮らしを支える物流の最適化

施策関係課 観光交流推進部県産品販売・輸出促進課

◎令和5年度の実施状況と成果

平成27年度から県産品の販路拡大を物流面で支援する「A! Premium」の取組を進めた結果、利用個数が増加したほか、「A! Premium」が契機となり、多様な物流手段による県産品の販路が国内外に拡大した。

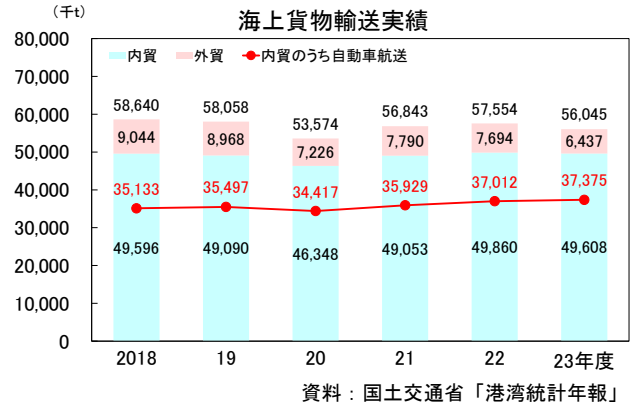
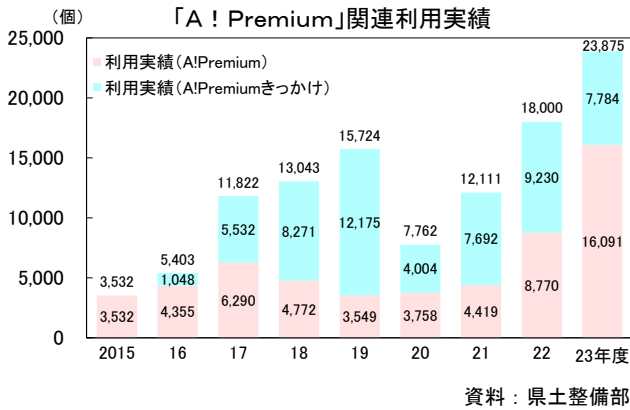
新型コロナウイルス感染症の感染拡大などによる物流網の寸断や、国内の人口減少・高齢化によるトラックドライバー不足への対応など、ロジスティクスをめぐる新たに顕在化した社会情勢の変化等を踏まえ、「青森県ロジスティクス戦略(2024~2028)」を策定した。

トラック輸送量減に備え、八戸港からの海運を組み合わせる輸送モード最適化に向けた調査を実施

した。

持続可能な地域物流ネットワークモデルの実証実験を実施し、県産生鮮品の出荷に必要な産地内の物流の課題を検証した。

◎関連する指標の動向等



※「A! Premium」きっかけの荷物は、「A! Premium」をきっかけに始まった商取引で、かつ「A! Premium」以外の輸送手段で運ばれたことが、アンケート調査等により確認できた荷物を指す。

※本県の港湾は、重要港湾が3港（青森、八戸、むつ小川原）、地方港湾が11港（大湊、小湊、野辺地、川内、仏ヶ浦、大間、尻屋岬、深浦、休屋、子ノ口、津軽）あり、このうち尻屋岬、深浦は避難港となっています。貨物取扱量は5,000万t台を推移しており、うち内貨が8割以上を占めています。

◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--|--|--------|
| ロジスティクス最適化事業 (観光交流推進部県産品販売・ 輸出促進課) | 「A! Premium」流通サービス関連取引利用個 数 23,875個 「青森県ロジスティクス戦略(2024~2028)」の策定 | 49,910 |

V-3 国際交流の推進

V-3-① 海外との友好交流の推進

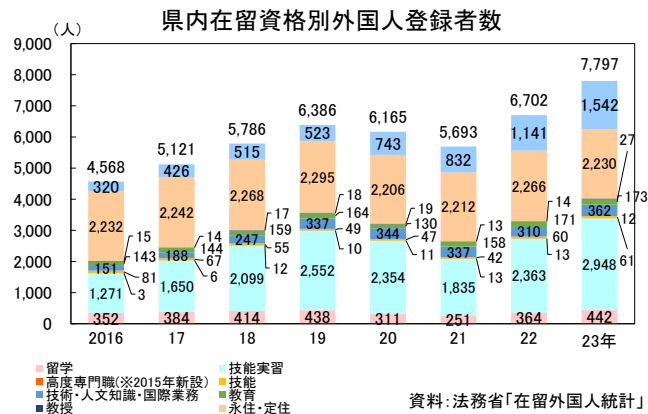
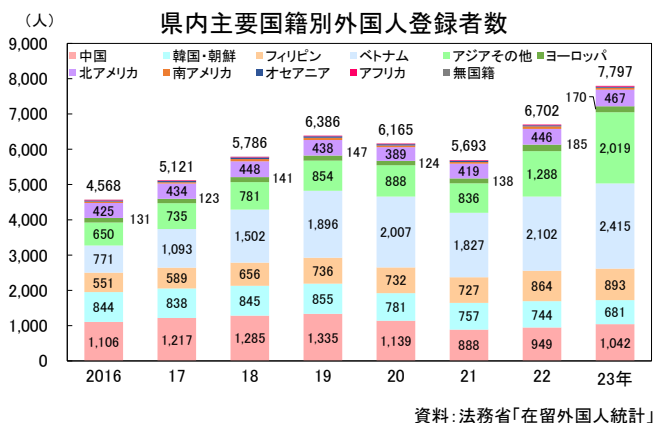
施策関係課 観光交流推進部誘客交流課

◎令和5年度の実施状況と成果

韓国済州特別自治道（平成28年8月姉妹提携締結）、台湾台中市（平成28年12月友好協定締結）、台湾台南市（平成29年12月友好交流に関する覚書締結）と全庁的に幅広い分野での交流に取り組み、相互地域への理解の深化やグローバル人材の育成等を図った。

諸外国や異文化を理解する広い視野を養うとともに、生徒の英語力や教員の指導力向上を図るため、「JETプログラム」（語学指導などを行う外国青年招致事業）を通じ、外国青年を配置した。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|-----------------------------------|--------------------------------|-------|
| 済州・台湾友好交流基盤強化事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 現地イベントへの出展 現地メディア招請回数 2回 | 9,187 |
| 外国青年招致事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 「JETプログラム」外国青年配置人数 171人 | 2,584 |

V-3-② 多文化共生社会の実現

施策関係課 観光交流推進部誘客交流課

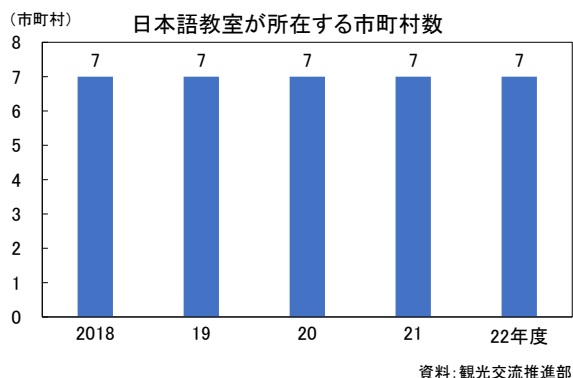
◎令和5年度の実施状況と成果

青森県観光物産館アスパム2階の国際交流ラウンジ内に一元的相談窓口を設置し、電話、対面、SNS、メールのほか、民間通訳サービスを活用した3者通話による相談対応を行った。また、法律、労働等の専門家を集めたワンストップ相談会を開催した。

県内4地域（青森市、弘前市、三沢市、中泊町）において交流型日本語教室を開催したほか、オンラインによる交流型日本語教室を新たに実施し、外国人住民等に対して日本語学習の機会を提供するとともに、地域住民との交流を促進した。また、多文化共生の推進に向けて、学識経験者等で構成する有識者会議を設置し、「青森県多文化共生推進プラン」を策定した。

JETプログラムを通じて、外国青年を国際交流員として招致し、翻訳・通訳等の国際交流関係事務（国際観光交流事業の補助的業務を含む）、地域住民の異文化理解のための交流活動等への参画・協力を携わることで、地域における国際化に貢献した。

◎関連する指標の動向等



※日本語教室が所在する市町村は、7市町村（青森市、弘前市、八戸市、三沢市、六ヶ所村、おいらせ町、南部町）あり、今後、市町村数の増加を目指しています。

◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|---|----------------------------------|--------|
| 外国人受入環境整備事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 外国人相談窓口相談件数 498件 | 9,883 |
| 交流型日本語教室を起点としたコミュニケーション支援事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 交流型日本語教室開催回数及び受講者数 55回、延べ422人 | 3,814 |
| 国際交流員招致事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 国際交流員（JETプログラム）招致人数 4人 | 18,653 |

V-4 暮らしと交流を支える交通ネットワークづくり

V-4-① 地域公共交通ネットワークの確保・維持

施策関係課 交通・地域社会部地域交通・連携課
 鉄道対策課
 観光交流推進部誘客交流課

◎令和5年度の実施状況と成果

青森県地域公共交通計画に基づき、広域バス路線の基礎調査や利便増進の検討を行うとともに、市町村及び交通事業者等で構成されるワーキング会議を開催したほか、市町村を対象に域内交通の確保維持及び地域公共交通計画の策定方法に係る勉強会の開催やアドバイザー派遣により、市町村の取組を支援した。

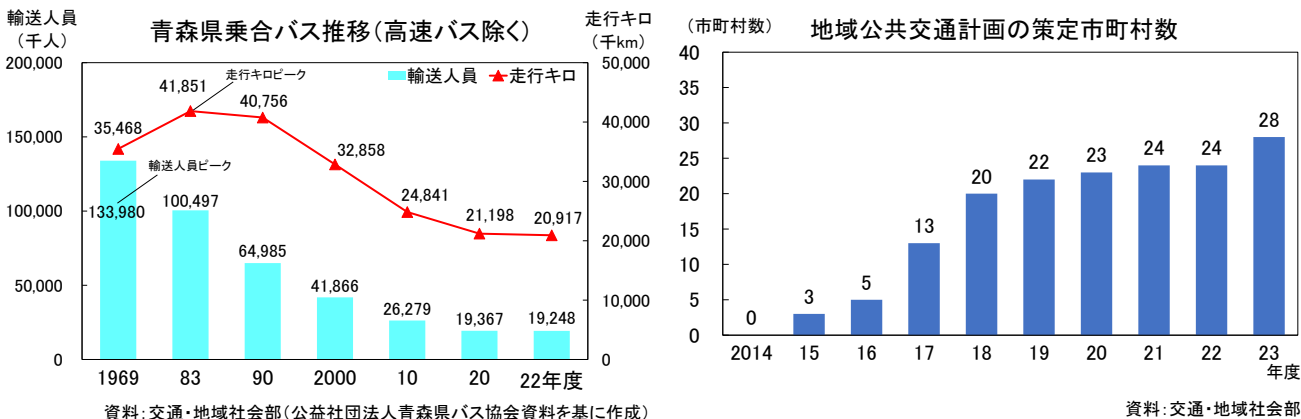
「地域の足」である路線バスについて、県内5事業者に対し、国と協調して、複数市町村を跨る路線バスの運行に係る欠損補助を行い、生活交通の確保・維持を図った。

蟹田・脇野沢航路及び大間・函館航路を活用した旅行商品造成支援や周遊促進キャンペーン等を実施し、津軽海峡交流圏及び北東北の周遊促進を図った。

津軽海峡交流圏の更なる認知度向上や北海道と連携した取組を行ったほか、奥津軽いまべつ駅の利用促進に取り組んだ。

JR在来線の活性化に向け、メディアを活用して県民利用を促進したほか、青い森鉄道の潜在的な需要開拓・拡大及び利用者数の増加を図るため、地域の小・中学生等を対象とした教育旅行における鉄道利用の実証や、イベント列車等の運行、マーケティング手法を活用した販売実証等の取組、さらには、鉄道を通じた台湾との交流を行った。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|---|--|---------|
| 持続可能な地域公共交通ネットワーク確保・維持・改善事業 (交通・地域社会部地域交通・連携課) | 地域公共交通計画検討ワーキング会議開催回数 2回 地域交通デザイン講座開催回数 2回 地域交通構築支援アドバイザー派遣回数 13回 | 12,568 |
| 地域間幹線系統確保維持費補助 (交通・地域社会部地域交通・連携課) | 補助対象事業者数 5事業者 | 165,551 |
| 航路を活用した津軽海峡交流圏・北東北周遊定着事業 (交通・地域社会部地域交通・連携課) | エージェント向け旅行商品造成支援件数 4社286件 近隣県発着バスツアー実施回数 6回 津軽海峡周遊促進キャンペーン利用車数 1,068台 小学生等を対象にした愛着心の醸成 海岸清掃バスツアー参加者数 15人 絵画コンクール応募者数 124人 | 23,580 |
| 津軽海峡交流圏形成加速化事業 (交通・地域社会部鉄道対策課) | 津軽海峡交流圏ラムダ作戦会議モデル的取組実施件数 5件 北海道新幹線利用促進PRフライヤー作成部数 日本語版2,500部、英語版500部(北海道庁との共同) 「マギユロウ」を活用した情報発信回数 16回 | 8,209 |
| 奥津軽いまべつ駅を拠点とした周遊観光促進事業 (交通・地域社会部鉄道対策課) (観光交流推進部誘客交流課) | 奥津軽いまべつ駅アクセス運行事業費補助対象市町村 ：今別町、外ヶ浜町、中泊町 PRリーフレット・ポスター作成・配付部数 7,765部 周遊ルート造成コース数 2コース モニターツアーの実施 テレビ番組タイアップによる魅力発信の実施 | 7,171 |
| 鉄道在来線活性化事業 (交通・地域社会部鉄道対策課) | テレビ・ラジオ番組放送回数 18回 YouTubeへの投稿本数 6本 駅イベント実施回数 3回 | 10,170 |
| 青い森鉄道需要開拓・拡大事業 (交通・地域社会部鉄道対策課) | 地域の教育旅行における鉄道利用実証の利用者団体数及び利用者数 延べ59団体、延べ1,633人 地域の子どもたちとその家族の鉄道利用機会創出に係る児童絵画展への絵画応募点数 102点 鉄道を通じた台湾との交流イベントの開催 | 7,761 |

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|----------------------------------|---|-------|
| 選ばれる青い森鉄道推進事業 (交通・地域社会部鉄道対策課) | 青い森鉄道マーケティング力強化勉強会実施回数 3回 マーケティングノウハウを活用した商品開発及び販売の実証 | 8,108 |

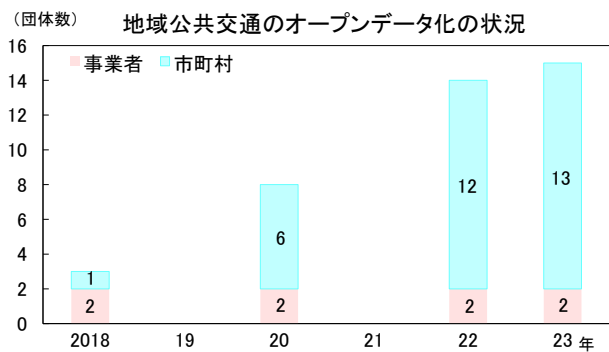
V-4-② 地域公共交通の利便性向上・最適化

施策関係課 交通・地域社会部地域交通・連携課

◎令和5年度の実施状況と成果

市町村や交通事業者、IT事業者を対象とした「あおりMa a S推進会議」を開催し、Ma a Sに関する共通理解や実施に向けた意識醸成を深めるとともに、実務的な支援として交通情報のオープンデータ化に関する勉強会を弘前市及び八戸市の2地域において開催した結果、13市町村がバス情報のオープンデータ化を達成した。

◎関連する指標の動向等



資料:交通・地域社会部

※事業者:広域路線バス・公営バス 計7社

※市町村:市町村バスを有する32市町村

※2019年度、2021年度はデータなし(調査未実施のため)

◎令和5年度の主要事業の実績

(単位:千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|--------------------------------------|---|-------|
| 地域交通Ma a S推進事業 (交通・地域社会部地域交通・連携課) | あおりMa a S推進会議開催回数 2回 オープンデータ化に係る勉強会開催回数 2回 | 8,852 |

V-4-③ 国内外につながる交通ネットワークの強化

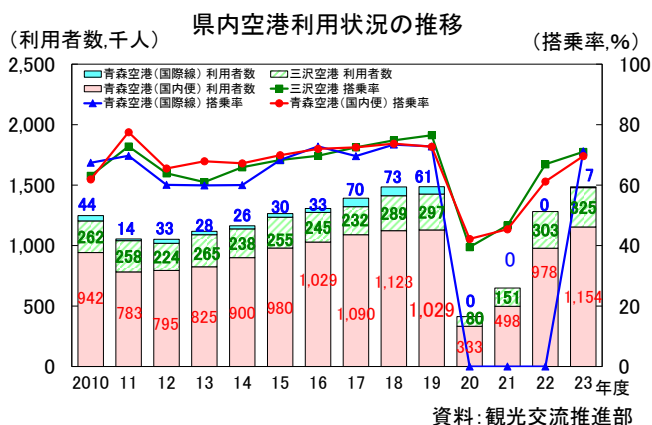
施策関係課 観光交流推進部誘客交流課

◎令和5年度の実施状況と成果

青森空港・三沢空港の利用促進や国内航空路線ネットワークの維持強化に取り組んだところ、JAL青森・大阪線が令和5年3月末から4便に増便するなど、本県と国内主要都市を結ぶネットワークが充実し、利便性が向上した。

国際航空路線の維持・拡大に取り組んだところ、青森・ソウル線の運航が再開したほか、青森・台北線のチャーター便が計26便運航した。

◎関連する指標の動向等



◎令和5年度の主要事業の実績

(単位：千円)

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|-------------------------------------|---|--------|
| 三沢・羽田線4便化維持対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 着陸料助成の実施 旅行商品造成支援件数 36件 乗継先地元新聞とのタイアップ記事広告掲載 2紙 | 21,969 |
| 青森・神戸線2便化プロジェクト事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 大学生交流に係るフィールドワーク開催回数 2回 ニュースアプリ上でのターゲティング広告の掲載 テレビ番組を活用した情報発信回数 1回 神戸まつり及びサンテレビ情報発信回数 2回 神戸線利用分の貸切バス助成台数 9台 | 30,999 |
| 国内航空路線利用促進強化事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 若年層向け運賃特別割引プロモーションの実施 動画配信プラットフォームを活用したターゲティング広告の掲載 テレビ番組を活用した情報発信回数 1回 各路線搭乗促進キャンペーン実施回数 4回 | 28,519 |
| 国内航空路線維持・強化対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 乗継利用促進に係るイベントでのPR実施回数 6回 ホワイトインパルス見学ツアーの実施 | 12,520 |

| 事業名 (担当課) | 事業実績 | 事業費 |
|---------------------------------|--|--------|
| 青森・ソウル線維持対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | ソウル線利用旅行の県内メディア情報発信回数 テレビ12回、新聞4回 県内旅行会社の乗継利用ファミツアーの実施 | 20,494 |
| 青森・台北線利用強化事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 台湾線利用促進に係る台湾でのPRの実施 台湾メディアを活用した情報発信回数 3回 | 23,284 |
| 中国航空路線就航対策事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 現地コーディネーターによる情報収集の実施 | 2,799 |
| 空港二次交通体制構築事業 (観光交流推進部誘客交流課) | 空港発着予約型乗合タクシー運行ルート数 4ルート | 11,925 |